

第28回北陸雪氷シンポジウム 北陸整備局や北陸水技術研究会は11月18、19日、「第28回北陸雪氷シンポジウム」を北陸雪氷シンポジウムとして開催する。

SAで開催する。克雪・利雪技術の現状や課題などを検証し、地域の活性化と雪国の発展

方気象台の鬼頭博尚台長が「雪害対策への気象情報利用」〜異常天候早期警戒情報の活用に向け

学大学院の福原輝幸教授が「コーディネーター」として、一時的な冬期道路交通確保をめざして

を繰り広げる。両日ともに雪に対する取組・研究

制も

ガイアートT・K

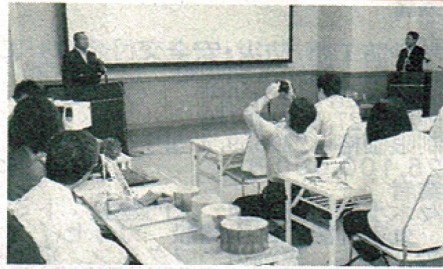
工)を皮切りに、東九州自動車道や東海環状自動車道といった高速道路も含めて全国で18件、5万平方メートルを超えた。今月上旬には東北自動車道小坂JCT(秋田県小坂町)のランプ部で過去最大規模の工事(舗装面積約2万2000平方メートル)が行

われた。これに伴い、同社では、13年度の目標を当初の5万平方メートルから6万7000平方メートルへ引き上げるとともに、14年度は10万平方メートルとした。

県産スギのパイル工法など

福井会議所合同プレス発表会 第10回

福井商工会議所は25日、第10回新商品・新サービス合同プレス発表会を開催し、マスコミ記者に直接アピールした。福井市西木田2丁目の同会議所ビルで写真。



このうちABCコーポレーション(本社・福井市四十谷町5-16、油屋敏行代表取締役)は、福井県産スギの地盤補強杭「環境パイル工法」をPR。美山町森林組合と連携し、杭材に県産スギの

間伐材を活用することで福井の森や林業の振興を進め、二酸化炭素の削減

21世紀職業財団は10月

フクビ化学と武生窯業

福井県産品の生産現場探訪

県産品活用推進センター

福井県産品活用推進センターが主催する「県産品の生産現場探訪」(バスツアー)は25日行

われ、一般や設計者、施工者の参加約40人は福井市三十八社町のフクビ化学工業と越前市広瀬町の武生窯業を順に訪ね、身近に作られる県産品の生産工程を間近にみて、一

層の理解と関心を深めた。フクビ化学工業では地域共生型に配慮する工場などを



40人で工場見学

学。様々な樹脂建材で独自の特長点を知り、とくに同社が意欲的に取り組む環境と共生できるエコプロダクツの生産・販売

入支援

協調融資

日本公庫金沢

度を効果的に組み合わせ、専門性の高い情報を提供など公庫の総合力を発揮したトータルサポートを行っている。

福井地区建設業会

単価決定の講習会

価や労務単価の決定方法、また建設物価調査会の調査方法などについて、参

も積極的に開催する。